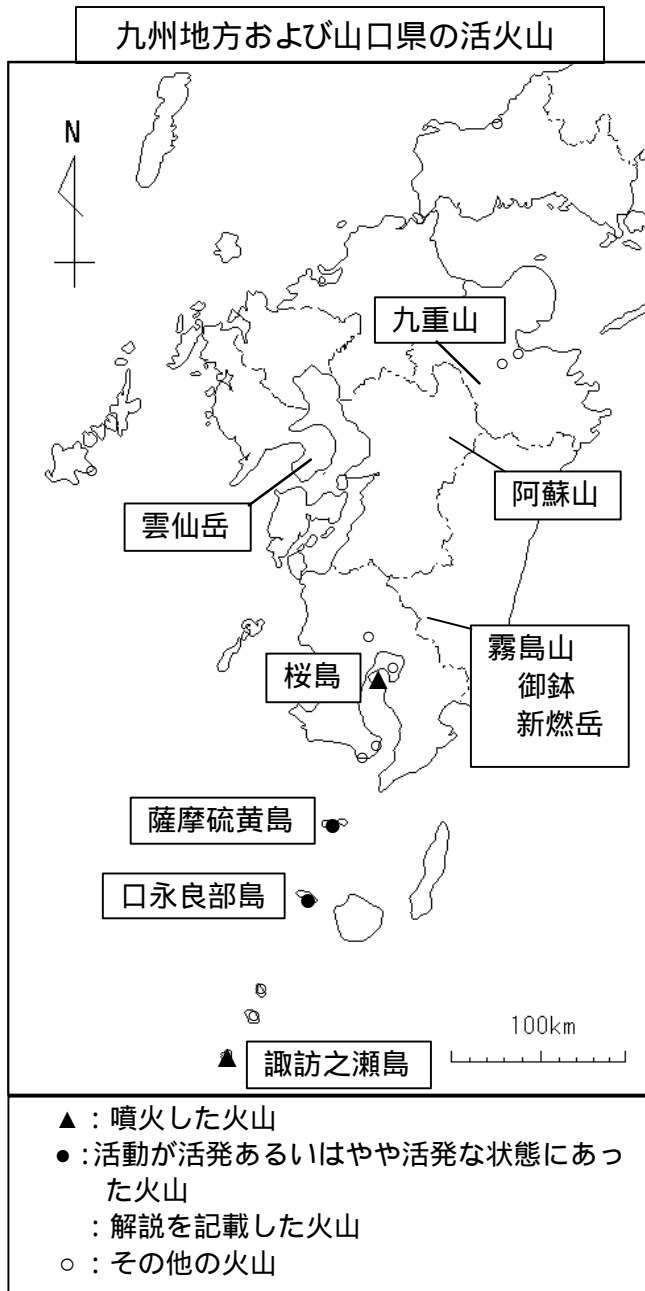


九州地方の火山活動解説資料(平成 19 年 3 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

【3月の活動概況】

諏訪之瀬島は活発な状況が続いています。桜島では、比較的静穏な噴火活動が続いています。
薩摩硫黄島及び口永良部島はやや活発な状況が続いています。



九重山[静穏な状況(レベル1)]

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[静穏な状況(レベル1)]

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

雲仙岳[静穏な状況(レベル1)]

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山

[御鉢 静穏な状況(レベル1)] ← 5日にやや活発な状況(レベル2)から引下げ

2月5日に振幅のやや大きな火山性微動が発生しましたが、その後は振幅の小さなものが時々発生する程度で火山性地震も少なく、火山活動は静穏になったと判断し、レベルを2から1に引下げました。

[新燃岳 静穏な状況(レベル1)]

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

▲ 桜島[比較的静穏な噴火活動(レベル2)]

南岳山頂火口では噴火が発生しました。火山性地震や火山性微動はやや多いものの、噴火活動は比較的静穏な状態で経過しました。

● 薩摩硫黄島[やや活発な状況(レベル2)]

噴煙活動、地震活動ともにやや活発で、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

● 口永良部島[やや活発な状況(レベル2)]

火山性地震や火山性微動はやや多く、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

▲ 諏訪之瀬島[活発な状況(レベル3)]

爆発的噴火や噴火が時々発生するなど、火山活動は活発な状態で経過しました。

注1 本資料中で記したレベルとは、現在12火山(うち九州地方及び山口県では8火山)に導入している火山活動度レベルをいいます。

この解説資料は気象庁 HP(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台 HP(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)に掲載しています。次回の火山活動解説資料(平成19年4月分)は5月8日に公表予定です。

この資料は気象庁のほか、大分県、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ(標高)」、「数値地図10mメッシュ(火山標高)」、「2万5千分の1の地形図」を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

火山情報発表状況

火山名	火 山 情 報 名	発表日時	概 要
霧島山	火山観測情報第 3 号	3 月 5 日 15 時 00 分	静穏な状況(レベル 1) ← 5 日にやや活発な状況(レベル 2)から引下げ 御鉢では、2 月 5 日に継続時間の短い振幅のやや大きな火山性微動が発生しましたが、その後は振幅の小さなものが時々発生する程度で火山性地震も少なく、火山活動は静穏になったと判断し、レベルを 2 から 1 に引下げました。 新燃岳は、静穏な状況で経過しました。